



(横須賀)

神奈川・北条泰時・時頼邸跡
ほうじょうやすとき
 ときより

- 1 所在地 神奈川県鎌倉市雪ノ下二丁目
- 2 調査期間 一九九〇年(平二)七月～八月
- 3 発掘機関 鎌倉市教育委員会
- 4 調査担当者 瀬田哲夫
- 5 遺跡の種類 中世都市跡
- 6 遺跡の年代 一三世紀中葉～一六世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

北条泰時・時頼邸跡は鎌倉市街地の中心、鎌倉駅から北東約六〇〇m、鶴岡八幡宮の南、若宮大路の東に位置している。

本調査は住宅建設に伴う事前調査で、まず杭打ち箇所を先行調査(第一次調査)し、杭工事終了後に本格調査(第二次調査)を行なった。調査面積は一〇〇㎡である。検出された遺構は若宮大路東側の南北溝や柱穴列などであり、大路に関わ

る新たな資料が得られている。南北溝は掘り直しや浚渫を繰り返しており、堆積状況から一六条を確認している。遺物としては素焼皿(かわらけ)・貿易陶磁器類・国内諸窯の製品・石製品・金属製品その他、多種多量の木製品が出土している。木簡は二点で、(1)は南北溝の五溝、(2)の木簡は六溝から出土している。両溝は一四世紀中葉～後葉に廃絶したものと考えられる。

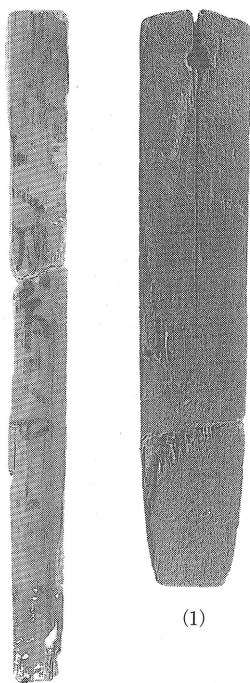
8 木簡の积文・内容

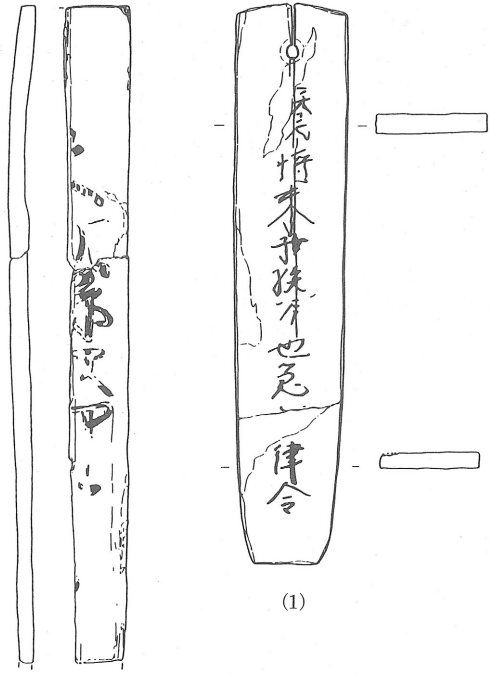
- (1) 「○蘇民将来子孫家也急□^{〔タカ〕}律令」 245×47×7 051
- (2) □□□□□□□□□□ □ (286)×(25)×9 081

(1)は完形である。(2)は下端・左辺を欠損する。

9 関係文献

鎌倉市教育委員会『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』七(一九九一年) (瀬田哲夫)





(1)

(2)